

「仙台市地下鉄東西線各駅周辺散策マップ」

仙台市青葉区役所・若林区役所まちづくり推進課
仙台市八木山市民センター
仙台市青葉山まちづくり推進協議会
地域のお宝探検隊
片平散策マップ作成委員会

【背景】

2015年12月6日に仙台市地下鉄東西線が開業した。この地下鉄新線は同市西部の八木山動物公園から中心部・仙台駅を経て同市東南部の荒井まで路線延長13.8km(13駅)、福岡市七隈線と同じ駆動方式の鉄道である。需要予測は開業時利用者約8万人/日を見込み、主な利用者は徒歩圏域で多く見込まれている。しかし、地下鉄駅は出入口のみでしか駅を認識できないことから、徒歩による利用者増進・外出率向上に新線の開業前から取り組む必要があった。

【意義】

上述の諸課題に有効なMMツールとして、駅周辺散策マップは重要である。紙の媒体が基本なので限界もあるが、インターネットによる閲覧も可能で、マップがあることを知りマップを使って散策体験のある人達からの口コミなど、人やITを介して地下鉄駅の存在や駅周辺の魅力を認知する方法として高い貢献度が期待できるからである。さらにマップは、掲載情報の更新など、持続性・継続性が求められると同時に、駅周辺のまちづくりに発展することも期待される。

仙台市地下鉄路線図



「若林WALKER」(東西線6駅+南北線1駅)



(若林区役所まちづくり推進課作成)

★東西線の乗車人員は、需要予測値には未達成だが、着実に増加している。

【概要】

地下鉄東西線各駅周辺散策マップは、2014年若林区役所が東北大学の協力を得て東西線6駅のマップをワークショップ手法で作成したことに始まり、仙台市中心部含む青葉区管内では地域団体等が青葉区役所の助成を受けて作成し、現在では仙台駅(巨大交通結節点のため乗り継ぎガイドを仙台市が作成)を除き12駅※で作成済みである。 ※これらマップ群は、仙台市交通局ホームページにも掲載中です

【マップづくり】

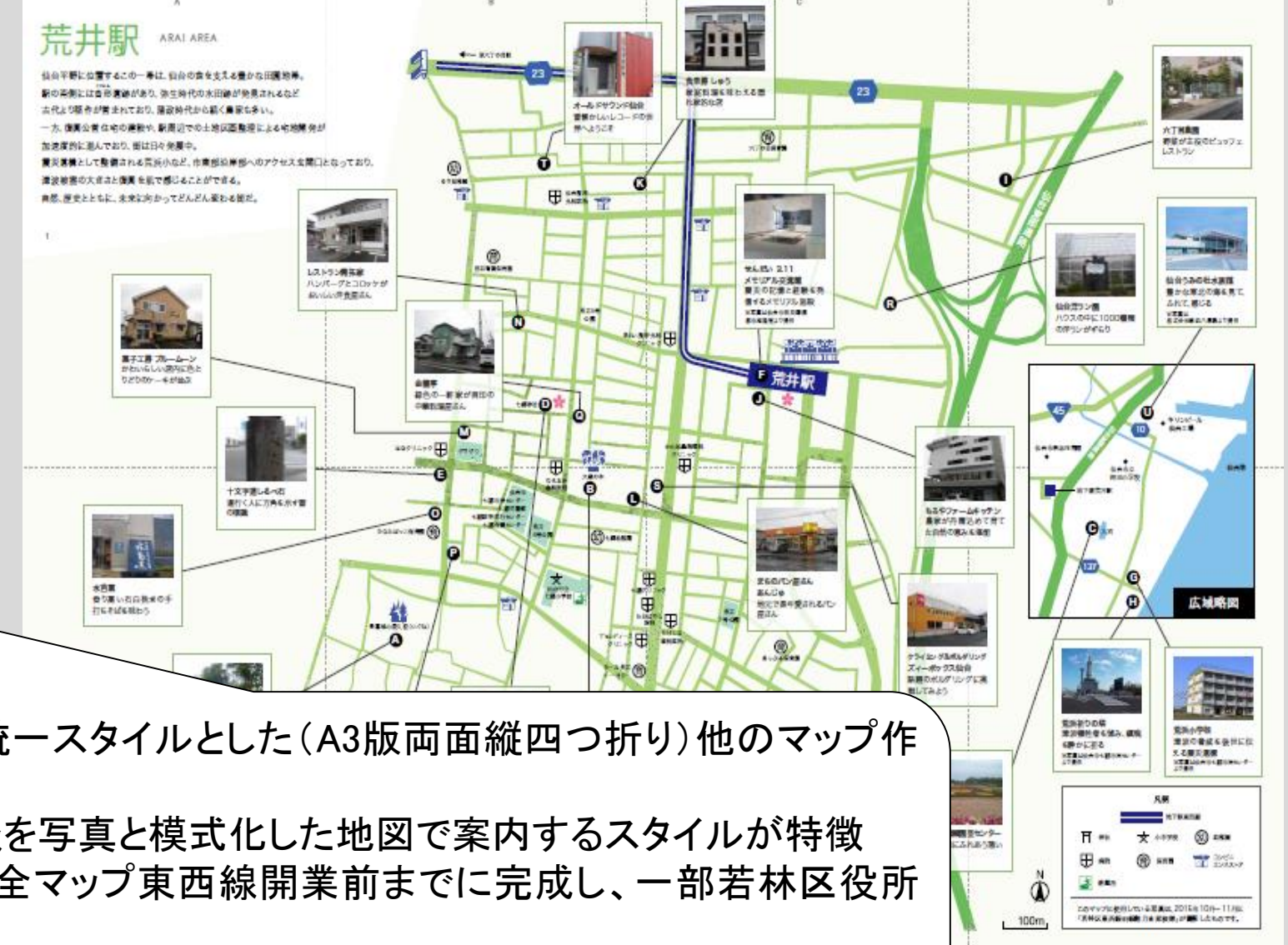
ワークショップ手法を採用しているが、作成主が行政から地域団体まで様々な関係で、デザインは、A3判横四折サイズで揃えながらも、洗練された統一感のあるものから古絵図・物語風の個性的なものまで多様なマップ群が出来上がった。

宮城野通駅周辺散策マップ「若林WALKER」



(若林区役所まちづくり推進課作成)

荒井駅周辺散策マップ「若林WALKER」



・マップ6駅統一スタイルとした(A3版両面縦四つ折)他のマップ作成に影響
・必要な情報を写真と模式化した地図で案内するスタイルが特徴
・東西線6駅全マップ東西線開業前までに完成し、一部若林区役所で更新
・平成29年3月には地下鉄南北線五橋・愛宕橋駅周辺マップ作成した(現在同線河原町駅作成中)

国際センター駅・川内駅周辺散策マップ「地下鉄駅から新しい杜の都まち歩きMAP」



(地域のお宝探検隊作成・青葉区役所助成)

【その他(効果等)】

最近では、川内駅に隣接する東北大学が川内駅・国際センター駅周辺マップを更新し同大学のHPに掲載している。また青葉山駅周辺マップを作成した地域団体を中心に、フットパスづくりの活動でまちづくりへと歩み始めており、仙台市内外で注目されている。

青葉通一番町駅・大町西公園駅周辺散策マップ「かたひらまちあるきマップ」



・絵だけで魅力を紹介し様々なテーマでルート案内が特徴
・地元町内会で小学生や復興公営住宅入居者に地域の案内に利用
・平成28年3月マップ完成、東北大学が同大学HPに掲載

(片平散策マップ作成委員会作成・青葉区役所助成) (青葉山まちづくり推進協議会作成・青葉区役所助成)

青葉山駅周辺散策マップ「青葉山三景」



・このマップ作成を契機としてまちづくりに発展(青葉山・八木山フットパスの会が平成28年12月結成)
・平成28年3月マップ完成、東北大学のHP掲載(新キャンパス整備で更新予定有)

八木山動物公園駅周辺散策マップ「八木山今昔」



・青葉山三景完成の影響を受けた八木山市民センターが生徒学習講座で作成のため長期間要したが盛り沢山の内容含む
・平成29年2月マップ完成し、同市民センターホームページに掲載
・青葉山・八木山フットパスづくりと連携してサイン整備など展開予定

(仙台市八木山市民センター作成)